

作文
2015 年度 ダボ派遣生に内定して

中学 3 年 野村 ジュリオ

ぼくは、オーストラリアの派遣生に内定してとてもうれしいです。この素晴らしいチャンスをいいものができるよう全力を尽くしていきたいと思います。いろいろ教えて下さった担任の先生、英語で書く意気込みを手伝ってくれた英語の先生、オーストラリアの面接練習につきあってくれた部活の顧問の先生、高額なお金を出して下さい、いつもいろいろな場面でアドバイスをしてくれるお母さんなどいろいろな人に支えられてここまでこれました。なのでこのチャンスを生かせるように真剣に取り組んでいきたいと思っています。そして、受からなかった子の分もしっかり代わりに学んでいき、将来役に立つようにしたいです。

ぼくは、ホームステイをしている時に少しでも多く会話ができるように最低でも日常生活の会話ができるようにもっと英語の勉強をしていきたいと思います。そしてどんな時であれどんな状況でも、笑顔を絶やさずに 12 日間楽しくいい思い出になるようにがんばっていきたいと思います。そしてオーストラリアへこのメンバーで行って良かったなあとも少しも思えるようみんな一人一人と仲良くし、少しでもダボ市の方々に僕の英語が伝わって少しでも僕の夢に近づけるように必死で頑張りたいと思います。

違う人を選んでおけば良かったなあと思われぬように、ジュリオを選んでよかったと思われるように全力を尽くしていきたいと思います。僕を選んでくださり本当に本当にありがとうございました。悔いの残らない派遣になるよう頑張ります。本当に感謝しております。ありがとうございます。

中学 3 年 田口 歩夢

僕は、派遣生に内定し、実際にダボ市へ行き、学びたいことが主に 2 つあります。

一つ目は、コミュニケーション能力です。ダボ市へ行き、実際に、現地の家で、現地の人と生活する上で、コミュニケーションはとても大切なことだと思います。自分の伝えたいことが、うまく表せない時も、ジェスチャーを取り入れたりして、気持ちを伝え、より多くの人達と交流をし、コミュニケーション能力を上達させたり、英語力を上達できるように頑張りたいです。また、派遣中につけた力を、その後も、色々な場面で発揮していきたいです。

二つ目は、文化についてです。オーストラリアには、日本とは違う、文化や習慣、伝統的な物や、事がたくさんあると思います。また、日本との関わりについても知りたいです。この派遣を通して、たくさんの事をコミュニケーションなどを通して、学びたいです。また、学んだ文化や、実際に自分で体験した事などを、日本に帰ってから色々な人達に伝えるということも、自分の役目だと思うので頑張りたいです。

この二つのことを学ぶと同時に、貴重なダボ市への派遣をこの先に生かせたり、思い出に残る派遣にし楽しむということも大切にして、いい体験にできるよう頑張りたいです。

中学3年 伊佐次 巧真

私が語学に興味を持ち、英会話を始めたきっかけは、幼少期の頃従妹がダボ市派遣生での体験談を聞かせてくれたことです。いつの日か海外での生活の中で、自分の英語がどれだけ通用するのかが試したいと思い勉強してまいりました。昨年には縁があってダボ市からの派遣生をホストファミリーとして受け入れた中で、今後の語学の向上には、英会話教室や学校の教科書での習得だけでなく、実際現地で生活を共にして交流を図り、語学学習の幅を広げることが必要だと考え、ダボ市派遣生を希望いたしました。

今回派遣生として内定いただいたことは喜びと同時に、日に日に大きくなる緊張感を感じています。この緊張感には何故か不安感といったものよりは、出身地の代表者という責任感から来る身の引き締まる思いと、これから数日に渡る派遣に至るまでの研修への期待感から来るもののように思います。

今回の派遣では、まずは思いきり楽しんできたいと思います。楽しむには、積極的に現地の方との会話を試み、現地で本当の友人と本当の家族を作りたいと思います。現地学校生活ではバスケットボール部で培ったチーム行動力で積極的に輪に入っていくと共に、ホストファミリーとは日本の文化でもある「思いやり・おもてなし」精神で接していけばきっと強固な友人や家族が築いていけると信じています。そうすることが語学学習を始め、風土・文化・環境・歴史を学べると考えます。同時に日本の魅力を現地の友人や家族へ紹介し、「美しき日本」の理解を求めることが、日本社会を見直すきっかけとなり、今後国際社会人として成長していくことが出来ると考えています。そしてこれからの有意義な体験は、私一人にとどまらずクラスメイトや後輩達に報告したり、今後も海外派遣生との交流を試み、世界各地との友好親善の架け橋として役立てていけるよう頑張っていきたいと思っています。

中学3年 井戸 咲希

私は、外国の人がどのような生活をしているのかなど、日本と違う生活スタイルに興味を持っていました。

私が特に海外に興味を持つこととなった最大の理由はダボ市からの派遣生がホームステイに来てくれたことです。このことがきっかけとなりダボ市の派遣に参加し様々なこと学びたい、思いました。

だから、この派遣に参加することができると聞いたときは、とても嬉しかったです。

今度はわたしがダボ市に行ったら、日本の文化や伝統、私の住んでいる川辺町のことを伝えることができればと思っています。

例えば折り紙など自分で折ったりすることで日本のことに興味をもってもらえると思います。川辺町はポート王国でもあるのでポートの話もしたいです。

そのことを伝えるためにホームステイ先や訪れるであろう様々な場所で伝えることができればと思います。

また、派遣される日までは、毎週のように研修があります。講義を聴いたりダボ市で行うことの話合いがされると聞いているので、派遣生と早く仲良くなって意見を出せるようになりたいです。自分の意見を相手に伝えることはダボ市に行っても役に立つと思います。英語で話さないといけないことに不安はありますが、言葉が通じなくてもジェスチャーを交えながら会話を楽しみたいです。友だちもたくさんできると嬉しいです。

派遣が終わって日本に戻ってきたら、中学校でこの経験をみんなに話をして外国に興味を持って貰いたいです。

最後に、私は、中学3年生なのでこれから進路を考える大事な時期です。この派遣が、私の将来の選択に役に立つものと思っています。

中学3年 若井 智哉

オーストラリアに行ったら、まずは現地の環境にいち早く慣れたいです。そのために、たくさんものを見て、聞いて、理解する努力をします。また、ホストファミリーの方と信頼関係を築けるよう、自分から積極的に話しかけたり、何かわからないところがあったら聞くようにします。そして、現地でのいろいろな出会いを大切にしたいです。学校に行くとき、買い物をするとき、そこにはたくさん関わりのあったり、もしかしたら自分の人生を大きく変える出来事があるかも知れません。「一期一会」という四字熟語があるように、その出会いひとつ一つを大切に、これも学ぶことの1つだと思って常に意識して生活します。

また、感謝や常識を大切にしたいです。例えば、食事ができていること、安心して寝られることを当たり前だと思ってはいけないということです。ホストファミリーの方は善意で僕たちを受け入れてくださっています。何事も「やってもらっている」ということを忘れないで、しっかりと感謝の気持ちを持って行動したいです。また、何か家の物を使うときには必ず家に人に許可をとることもしなければなりません。「自分の家」と思ってしまいいつもの習慣で勝手に使ってしまうということがあるかもしれません。あくまで貸してもらっているのです。このような一般常識をわきまえて生活していきたいです。もちろん「ごめんなさ」や「ありがとう」といった、いつも大切にしている言葉も言えるようにしたいです。

今回僕は初めて海外に行き、ホームステイをします。たくさん不安な所もありますが、いつもやっていることを発揮すれば、成果もたくさん得られると思います。また、受からなかった人の分まで背負っていくので、その意味もちゃんと考え、「いい体験だった」と心から思えるように頑張ります！！

高校3年 二宮 久瑠実

選考会が終わってから合格しているかどうかずっと不安だったので、合格通知が届いたときには本当に嬉しかったです。小学校の頃から英会話を習ってきて、いつか勉強のために海外に行きたいと思っていました。そして友人からの後押しもあり、この派遣に応募しました。

正直、自分の英語が通じるかわかりません。言葉が出てこなくてうまくいかないことのほうが多いよう

な気もします。困ったときに助けてくれる家族や友人もないオーストラリアで、一人でそれを解決することは大きな課題でありチャンスでもあります。相手の目を見ること、ジェスチャーを使うこと等方法はいくらでもあるので生きた英語に恐れることなくどんどん触れていきたいです。

不安なこともあります。ダボの学校に行って同年代の子と接することができたり、日本とは違う衣食住を体験できたりすることがとても楽しみです。私の日本での生活を伝えたいし、逆に得られた話を日本でもみんなに伝えたいです。

体験することの1つ1つが初めてで、非日常の連続に戸惑うことがあってもこの経験はきっと将来の自分に役立つはず。ただ、どのように応用していくかは自分次第。英語力向上のために多くの人と積極的なコミュニケーションを取ることは当然のこと、現地の文化や生活スタイルなど、高校生だからこそたくさん吸収できることがあると思います。未来への一歩になるよう五感をフルに使って全力で学び、楽しみたいです。

高校二年 中島 由須

私は自分がこの、ダボ派遣生に内定して本当にうれしく思います。

私は日本の文化や習慣しか知りません。なぜなら、私にとって初めての海外というのがダボ市だからです。

だからきっと、初めての体験になるものばかりです。

ダボ市で、出会う初めてのことや人、そこで今は流行っているもの、同じ年代の子達の考えなど、多くのことを知り、吸収したいです。

そして、積極的に全ての事にとりくんでいきたいです。

自分でつかんだチャンスを出来るだけ良いものにします。

その他にも、自分の住んでいる場所である美濃加茂市について伝えたいです。

美濃加茂市の魅力は、たくさんあります。

木曾川などの自然や、おん祭MINOKAMOなどの祭り、特産品の堂上蜂屋柿など多くの“ステキ”伝えたいです。

また、ダボ市で学んだことや知らなかったこと、驚くようなことなどをそのままにせず

多くの人に伝えていきたいです。

そして、帰るときには

「来てくれてとっても楽しかったよ。」

と言ってもらえるように、努力したいです。

高校2年 永 さゆり

私は派遣生に内定して、ダボ市でやりたいことが明確になってきました。一番の目標は、日本とダボ市の文化、日常生活、そして環境の違いを見つけて、それぞれの国の良さや特色を感じて学ぶこ

とです。

私は今回のダボ市の派遣が人生で初めての海外研修なので、海外の生活環境についてはよくわかっていません。しかし、とても海外の事が知りたいとあっていてダボ市の生活、文化、特に現地の人々の雰囲気に興味があります。

ダボ市での現地の人々の雰囲気を知ることと同時に、日本人の人柄や日本の特色がどんなものなのかということの認識を深めたいと思っています。そして外国人が日本人に求めることはどんなことかということを感じ取り、今後の学習に生かしていければと思います。

二つ目の目標は、英語での日常会話を肌で感じて、ネイティブの発音を聞き取れるようになることと、自分自身もネイティブスピーカーのような流暢な英会話を少しでもできるようになることです。そして意思表示を行動と言葉の両方でしていきたいと思っています。

私は以前、「英語が話せなくてもだいたい通じるよ。」と、友達から聞いたことがあります。それは、言葉がなくても人間の本能的な行動で通じ合えるという点で凄いことだと思いました。しかし、海外の事を学んでいくという上で、英語が話せないということは通用しないと思います。だからダボ市へ行ったら、自分にできる限りの言葉で意思を伝え、現地の生活に慣れてきたころには自分から積極的に会話をしていきたいと思っています。そして、自分の言葉で日本の良さを伝え、ダボ市の方に「ぜひ日本に行ってみよう！」とお願いしたいと思っています。

これらの目標や望みが達成できるよう、研修前にしっかり英語を学習し、楽しいダボ市派遣にしたいです。

高校2年 服部 史門

私は、今年ダボ市への派遣生になりました。以前から海外に興味がありましたがなかなか行動に移さなかったのが8月に実際にオーストラリアへ行くと思うと不安ですが、海外に行くことは未経験がたくさんあると思うので帰国した時には、レベルアップした自分になっていられるような、実り多い海外研修にしたいです。私の研修の一番の目的はオーストラリアの文化を知ることです。日本とは全く違う価値観や食文化などを学び、そして体験することによって今、自分が持っている知識や、世界観を幅広いものにしたいと思っています。それを達成するには、地域の方やホストファミリーの方と積極的にコミュニケーションを取らなければいけないので、英語が得意な方ではないですが、精一杯頑張りたいと思います。現地ではたくさん困難があると思いますが、それを乗り越えて、今の自分をレベルアップさせるいい機会なので、なんとなく行った研修ではなく、自分の人生の起点となるような研修にしたいです。

高校1年 井上 颯希

私は、オーストラリアに行くことができとても嬉しいです。オーストラリアには行ったことがないのでどんな所か知りたいと思っています。日本とは違う、南半球の気候やどんな動物がいるのかいろいろなものを見てみたいと思います。日本とは違うところ、また日本と似ているところや同じところなどを探してい

たいと思います。

例えば、食べ物です。日本独特の和食を少しでも伝えと共に、オーストラリアの食べ物はどのようなものが多いのかなどを知りたいです。オーストラリアでよく食べられるものは何か、特産物なども食べられたらいいと思います。その他にも、宗教や考え方などたくさんを知れたらいいなと思います。

オーストラリアでホームステイするのにあたっては、やっぱりコミュニケーションが大切だと思います。自分が知らない土地で、初めて会う人とコミュニケーションを取ることは難しいと思います。また、英語も分からない単語などたくさんあったり、相手に伝わらなかつたりすることも多いと思います。ですが、自分が伝えたいという気持ちを持って話せば相手も少しは分かってくれると思います。だから、私は相手に伝わらなくてもあきらめないでジェスチャーなどをして相手とコミュニケーションをとっていきたいです。また、オーストラリアの人と仲良くなって楽しい時間を過ごせるよう、努力していきたいと思いました。

オーストラリアに行くにあたってマナーなどに気をつけたり相手に失礼にならないようにしていきたいです。楽しんでいきたいです。

オーストラリアから帰って来たらオーストラリアで学んできたこと、見てきたこと、思い出などを友達や親などたくさんの人に話したいと思います。オーストラリアのいい所を見つけてきて教えてあげたいです。

以上